



Open Incubation toward 2020

株式会社デジタルガレージ

2018年3月期 第1四半期決算サマリー

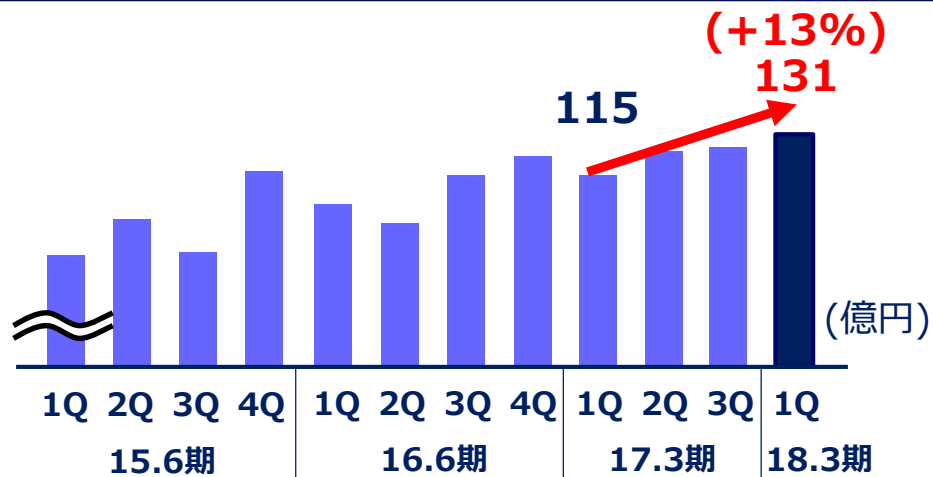
2017.8.10

 **Digital Garage**

2018.3期1Qは、前年同期比*13%増収、同13%営業増益、同税引前利益42%減益

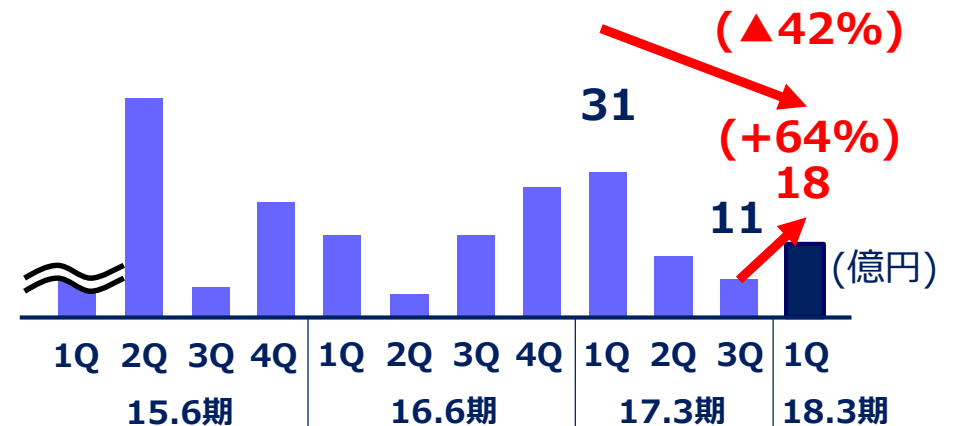
- 売上高・営業利益ともに高成長が続くMT/FTセグメントが牽引。経常利益は、前期1Q変則決算の影響で同37%減益
- 前期1Qの変則決算の影響による持分法投資利益と特別利益の減少で税引前利益は同42%減
- 通期業績予想に対する売上高進捗率22% / 税引前利益進捗率23%と、予算を上回る進捗

連結売上高



- 売上高は前年同期比13%増の131億円、四半期過去最高を更新
- MT/FTセグメントが安定的に2桁増収を確保し、会社全体の売上の伸びを牽引

連結税引前利益



- 前四半期比64%増の18億円と回復
- 前期末の減損負担がなくなり、税引前利益改善に寄与
- 変則決算に伴い、前期1Qはカクコム持分法投資利益を6ヶ月分計上 (前期1Q 12億 → 今期1Q 6億と6億減益)

注) * 前期の9ヶ月変則決算に伴い、決算短信では前年比較はございませんが、本説明資料では便宜上、17.3期1Qと18.3期1Qの単純比較を行っております
 決算期変更前から3月決算の会社 : 2017.3期 1Q (4-9月)と2018.3期 (4-6月)の比較
 3月決算に変更した会社 : 2017.3期 1Q (7-9月)と2018.3期 (4-6月)の比較

セグメント別ハイライト

新中計目標

Marketing Technology

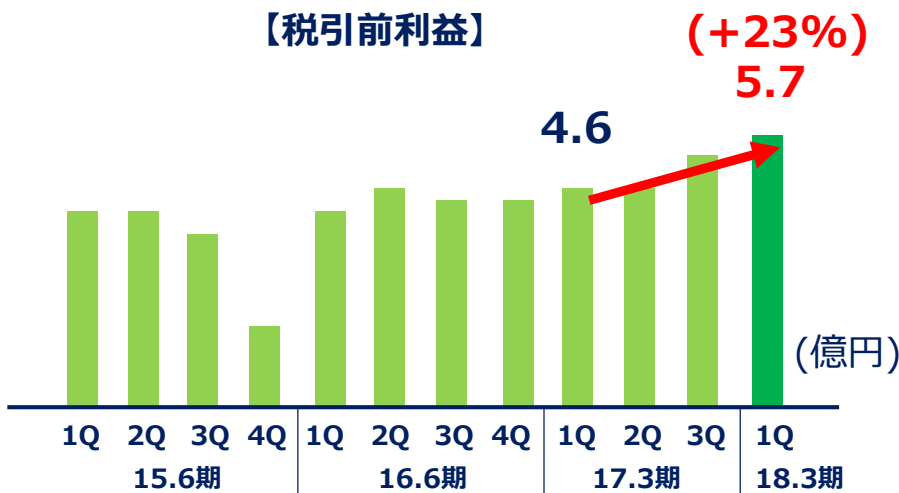


- パフォーマンスアドの好調続き、2桁増収増益を確保

売上高 78 億円 +19%
 税引前利益 4.6 億円 +26%

税引前利益
 CAGR +15%

Financial Technology



- 市場平均を上回る成長を継続、2桁増収増益を確保

取扱高 3,405 億円 +10%
 税引前利益 5.7 億円 +23%

税引前利益
 CAGR +15%

セグメント別ハイライト

新中計目標

Incubation
Technology

IT

投資育成：

- 積極的な成長投資を継続
- 投資事業の新体制構築の一環として、米シリコンバレーをベースにする有力投資家をChief Investment Officerとしてアサイン (9月)
- 日・米・アジアでの投資体制強化へ。ポートフォリオの戦略的な見直しに着手

■ 投資残高 125 億円

ROI 2.5 倍

Long Term
Incubation

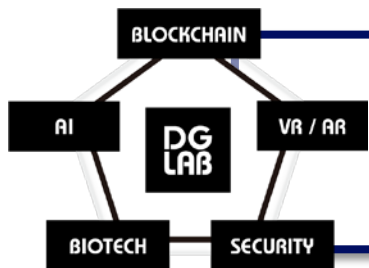
LTI

長期事業利益：

- 講談社との合併会社であるDK Media、コンプレッションメディア「HOLICS」開設
- ライフスタイル支援事業 DG Life Design本格始動
- 優良投資先の中長期インキュベーション体制を構築

■ 投資残高 33 億円

ROI 2.5 倍



5つの重要分野に焦点を当てた研究開発とファンドによる投資を両輪とし、次世代事業の柱となる技術開発に向けた活動が本格化。2017年秋にブロックチェーン関連の実証実験開始

BLOCK CHAIN

ブロックチェーン技術を活用した研究開発プロジェクトを推進

ブロックチェーン技術のトップ企業であるBlockstream社との協業が本格化。カカクコム、クレディセゾンや戦略パートナー企業と、地域マネーなどブロックチェーン技術に基づくプロダクトを共同開発。2017年末までに地域マネーの実証実験を開始する予定



AI

データサイエンス事業と連携したサービスを開発

カカクコムが有するWeb行動データ、電通グループが保有する広告関連データをもとに、パートナー企業が有する様々なデータと組み合わせて人工知能で分析した結果に基づくサービスやプロダクトを展開。食べログが蓄積するレストラン情報を検索できるインタラクティブエージェントのプロトタイプを開発し、オープンプラットフォームとして提供予定

VR/AR

高品質VRコンテンツを手掛けるスタジオと連携

高品質のVRコンテンツの配信を手掛けるWevr社と連携し日本展開を推進するほか、パートナー企業と連携してライブパフォーマンスの「4K360°」配信を実施



BIOTECH

バイオインキュベーションセンターの設立に向けた土台作り

バイオ系スタートアップ企業を育成するエコシステムの構築を目指し、バイオ分野で先進的なインキュベーション事業を手掛けるPureTech社と業務提携

SECURITY

新しい概念のセキュリティ技術を目指す

スマートフォンやIoTの普及により爆発的に増大するデータの保護に向けた新しい概念のセキュリティ技術の開発を検討



DGLAB FUND

人工知能、バイオといった分野の有望企業への投資を本格化

業界をリードするカンファレンス・イベントを多数開催
 ～ 最先端の技術動向を紹介するカンファレンス や デベロッパー向けワークショップ ～

THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYO



開催日時：2017年7月25日・26日
 開催場所：虎ノ門ヒルズフォーラム
 URL: <http://ncc.garage.co.jp/>

伊藤 穰一がホストとなり、それぞれの分野の第一線で活躍する研究者、起業家、有識者などを世界中から集め、最先端の動向について議論を深めるカンファレンス。2005年から始めて今回は第15回の開催。

Day1：ITとバイオテクノロジーの融合が導く未来

Day2：ブロックチェーンの真価と進化

ダイジェスト映像：<https://youtu.be/ZpKqUUitPQ4>

両日共に約500名が参加、参加者満足度：89%



Blockchain Core Camp

開催日時：2017年7月31日～8月2日
 開催場所：デジタルガレージ
 URL: <https://bc-2.jp/>

3日間にわたりエンジニアを対象にBlockchain技術の実装をハンズオン形式で体験できるトレーニングの場。

Day1：Elementsの世界とAssetsの発行

Day2：“Layer2”技術

Day3：Smart Contractの可能性

約100名のエンジニアが参加、参加者満足度：80%



各分野の第一人者と時間を共にすることで、参加者を啓蒙し業界を盛り上げる活動を継続

業績レビュー



単位：百万円	2017.3期	2018.3期	前年同期比		2018.3期	
	1Q (実績) (7-9月)	1Q (実績) (4-6月)	(比率%)	(金額)	(通期予想)	1Q 進捗率
売上高	11,558	13,103	+13.4	+1,544	58,500	22%
営業利益	412	464	+12.6	+51		
営業外収益	1,555	748	-51.9	-807		
持分法投資利益	1,262	615	-51.2	-646		
営業外費用	197	101	-48.5	-95		
為替差損	67	9	-86.3	-58		
経常利益	1,770	1,111	-37.3	-659		
特別利益	1,380	719	-47.9	-661		
投資有価証券売却益	1,368	717	-47.6	-650		
税金等調整前当期純利益	3,137	1,830	-41.7	-1,307	8,000	23%
法人税等	456	568	+24.5	+112		
親会社株主に帰属する当期純利益	2,678	1,267	-52.7	-1,411	5,500	23%

注) 前期の9ヶ月変則決算に伴い、前年比較は17.3期1Qと18.3期1Qの単純比較としております。
 決算期変更前から3月決算の会社：2017.3期 1Q (4-9月)と2018.3期 (4-6月)の比較
 3月決算に変更した会社：2017.3期 1Q (7-9月)と2018.3期 (4-6月)の比較

持分法適用関連会社のカカコム社は今期より指定国際会計基準「IFRS」を適用しており、当期の持分法投資利益はIFRSに基づくとともに、前期の数値についても遡及適用後で反映しております。

単位：百万円	2017.3期	2018.3期	前年同期比		2018.3期	
	1Q (実績) (7-9月)	1Q (実績) (4-6月)	(比率%)	(金額)	(通期予想)	1Q 進捗率
売上高	11,558	13,103	+13.4	+1,544	58,500	22%
MT マーケティングテクノロジー	6,550	7,800	+19.1	+1,249	32,000	24%
FT フィナンシャルテクノロジー	4,511	4,951	+9.8	+439	20,500	24%
IT インキュベーションテクノロジー	486	337	-30.5	-148	6,000	6%
LTI ロングタームインキュベーション	10	14	+30.7	+3	-	-
税金等調整前当期純利益	3,137	1,830	-41.7	-1,307	8,000	23%
MT マーケティングテクノロジー	368	466	+26.3	+97	1,750	27%
FT フィナンシャルテクノロジー	468	578	+23.5	+109	2,300	25%
IT インキュベーションテクノロジー	1,364	▲ 114	-	-1,478	3,800	-
LTI ロングタームインキュベーション	1,258	554	-56.0	-703	2,500	22%

注) セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前の数値となります。

今期より、中長期かつ継続的な事業利益の創出に取り組むことを目的として、従来のセグメントのうち、MIセグメントをLTIセグメントに変更しております。
従来ITセグメントに含まれていた一部の事業等をLTIに移管しており、前期の数値は変更後の区分により表示しております。

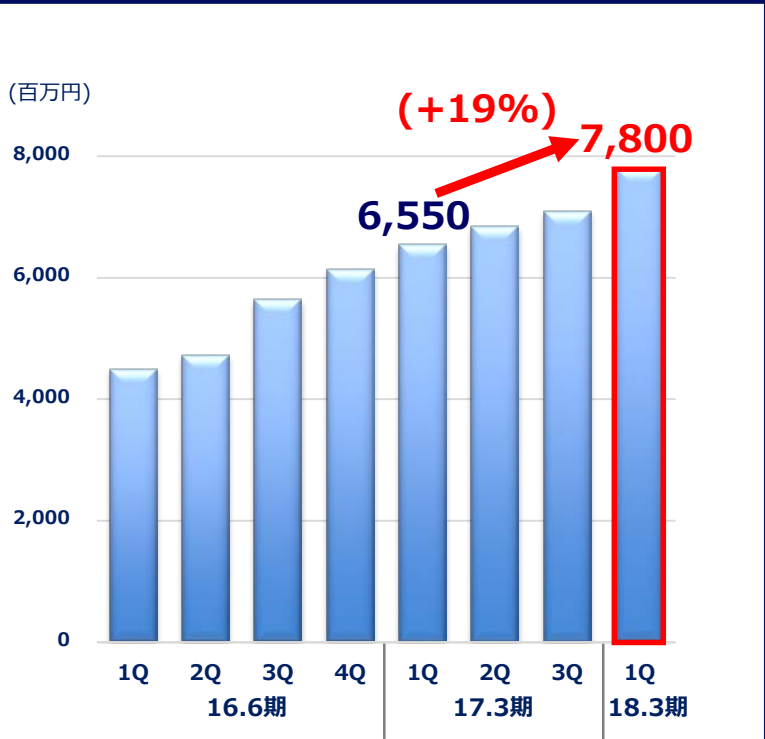
(単位：百万円)	2017.3期末	2018.3 1Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	59,624	59,875	+250	
現預金	23,029	20,422	-2,607	新規投資、法人税と配当金の支払等
未収入金	15,422	16,971	+1,548	投資有価証券売却、FT事業の拡大
金銭の信託	2,264	3,883	+1,618	FT事業の拡大
営業投資有価証券	11,856	12,411	+554	新規投資、時価評価等
固定資産	32,061	30,316	-1,745	
投資有価証券	18,357	16,584	-1,773	投資有価証券売却、持分法投資利益取込
のれん	5,411	5,293	-117	
資産合計	91,686	90,191	-1,494	
流動負債	38,815	34,837	-3,978	
預り金	25,127	24,985	-141	
短期借入金	6,937	4,137	-2,800	長期金利の低下に伴う短期借入金の長期シフトを実現
固定負債	18,499	20,607	+2,107	
長期借入金	17,207	19,526	+2,319	
負債合計	57,315	55,444	-1,870	
純資産	34,371	34,746	+375	
株主資本	31,633	31,961	+327	
資本金	7,437	7,438	+1	
資本剰余金	2,946	2,947	+1	
利益剰余金	21,300	21,626	+325	当期純利益の取り込み
その他の包括利益累計額	1,956	1,967	+11	
有価証券評価差額金	644	641	-2	
負債・純資産合計	91,686	90,191	-1,494	

事業セグメント別レビュー



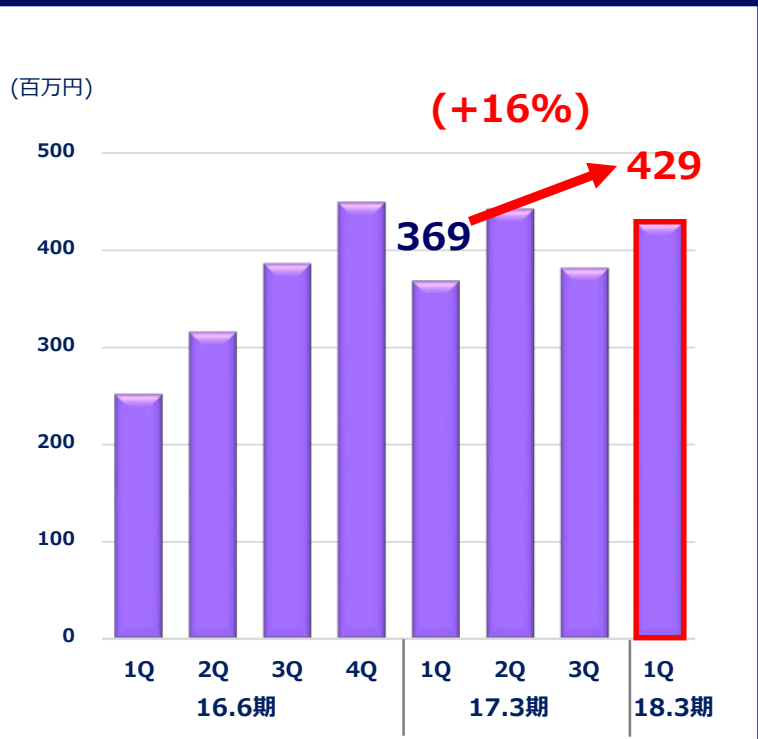
過去最高売上高を更新 パフォーマンスアドは全分野で浸透し着実に伸張

売上高



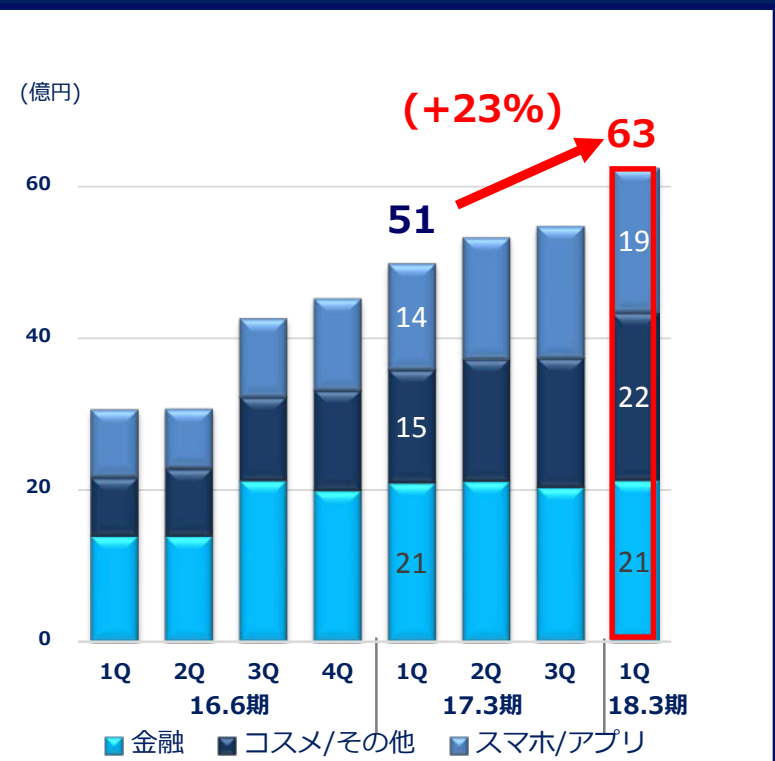
パフォーマンスアドが牽引した順調な売上伸長
過去最高売上高を更新

営業利益



売上増と粗利ミックスの改善により
人件費増と固定費増を吸収

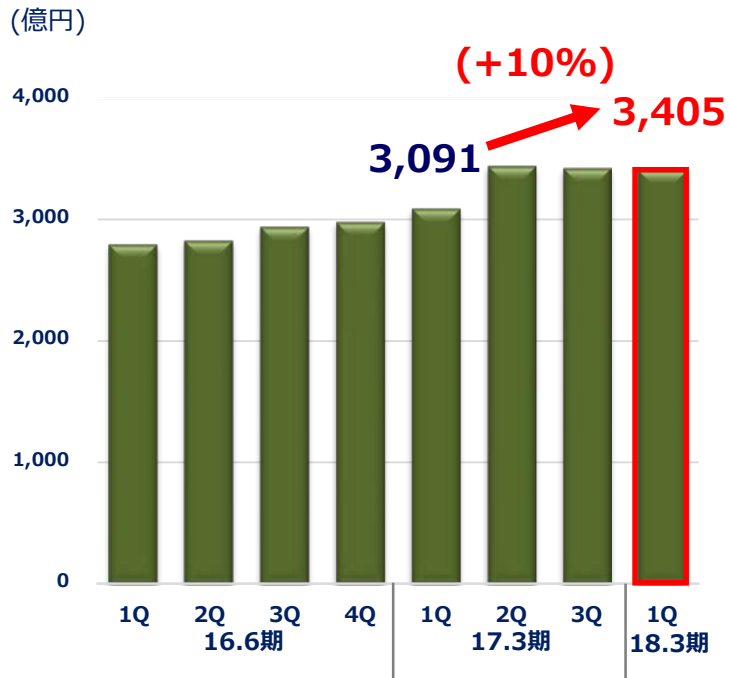
パフォーマンスアド売上



主力の金融業界をはじめ、
スマホ・アプリ分野等全分野で継続伸張

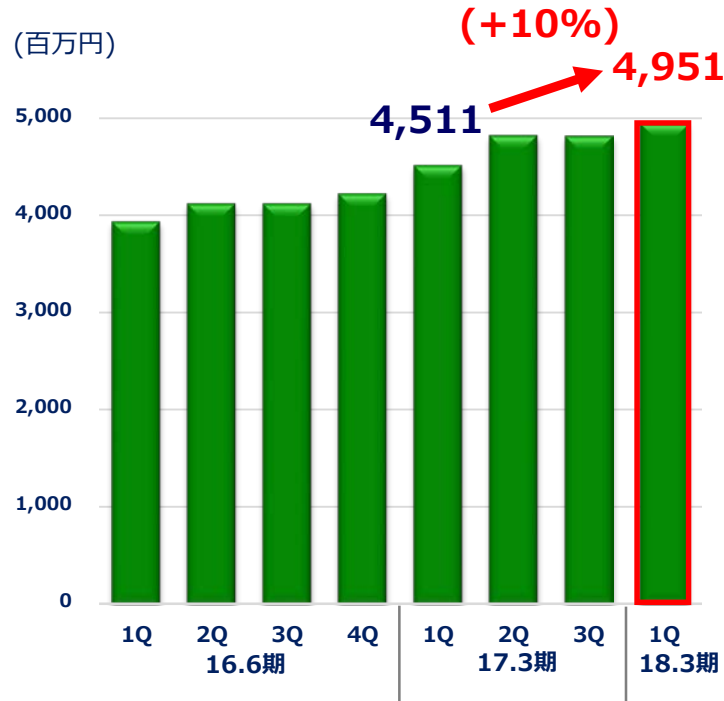
売上高、営業利益共に過去最高を更新 決済取扱高は3,400億円超まで拡大

決済取扱高



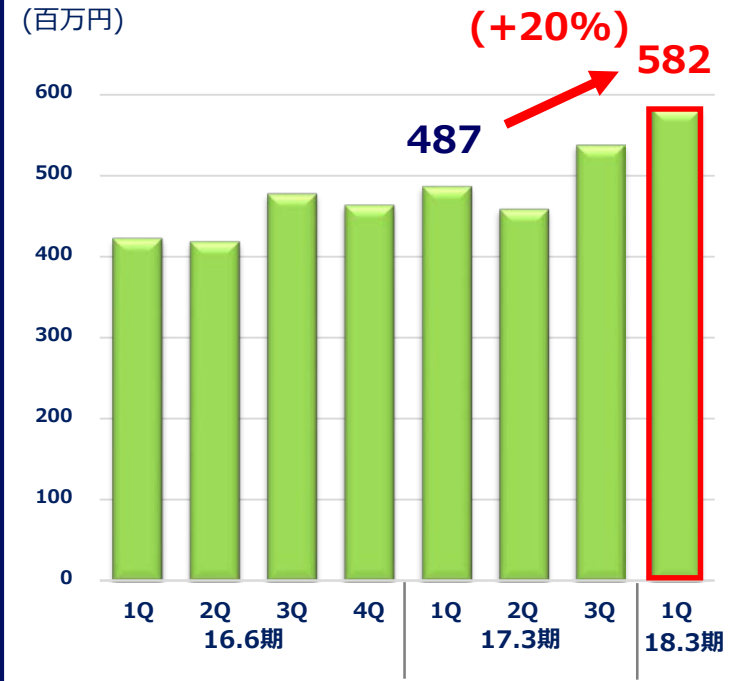
引き続き、CtoC領域が好調
EC市場成長率9.9%を上回る成長継続

売上高



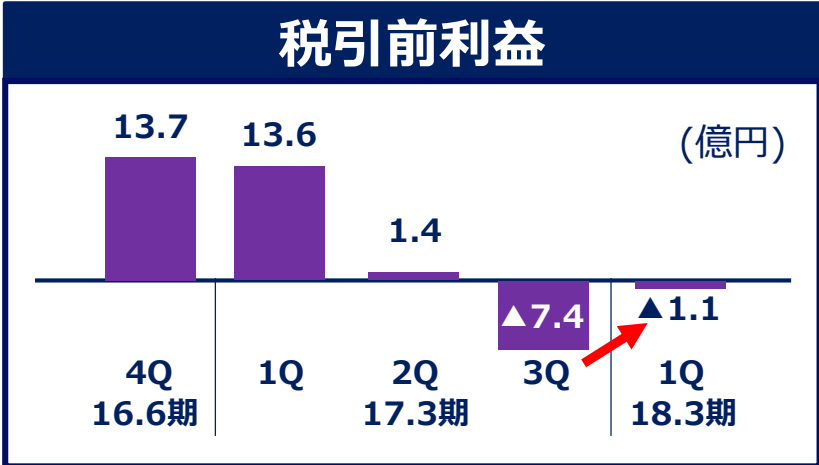
既存クライアントの伸長及び
海外大手EC事業者の獲得が寄与

営業利益



決済取扱高増加に伴う限界利益の
向上により、過去最高益更新

**前期の減損負担がなくなり、税引前利益は前四半期比6億円改善
～ 1Qは株式売却なく税引前損失も、積極的な成長投資を継続 ～**



投資残高

	社数	投資残高
株式	134	119 億円
国内	43	19 億円
海外	91	99 億円
ファンド	8	6 億円
計	142	125 億円

注) DGインキュベーションの投資残高
上場銘柄は期末時価による評価額。株式は転換権付融資含む。
残高合計は単位未満切捨てのため一致しない場合があります

主要なポートフォリオ

Blockstream [米・加]



ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

ウェルビー [日本]



慢性疾患、糖尿病、ガン患者向けのアプリを提供

Droom [インド]



インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

グッドパッチ [日本]



スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける

Wevr [米国]



バーチャルリアリティの制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである「Wevr Transport™」を運営

モンスター・ラボ [日本]



世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営

PureTech Health [米国]



最先端のバイオテクノロジー領域でインキュベーションを手掛ける米国企業。ロンドン証券取引所上場

パネイル [日本]



クラウドコンピューティングと人工知能を活用して完全自動化した電力小売プラットフォーム「Odin」（オーディン）を提供



米PureTech社と業務提携、次世代バイオスタートアップの育成事業に参入 ～ コンピュータサイエンスとの融合を背景にバイオ企業を育む日本初のエコシステムを創出～



業務提携の内容

I PureTech社の日本展開支援

II PureTech社による専門的なアドバイスの提供・投資先企業の紹介

III デジタル・バイオ・ヘルスケア領域におけるJV設立など

PureTech Health Plc

最先端のバイオテクノロジー領域でインキュベーションを手掛ける米国企業（本社ボストン）。ロンドン証券取引所上場

PureTech傘下の主なスタートアップ企業

 多動性障害をゲームで治療	 肥満防止サプリ	 微生物による免疫強化	 統合失調症治療	 人工知能を使った音楽療法
 男性円形脱毛症治療	 経口薬の効率的摂取	 炎症の抑制治療	 小児向け微生物療法	 声色による診断

インターネットビジネスのスタートアップ育成で培ったノウハウをバイオ領域に活用へ



PureTech社が経営陣・アドバイザーに抱える業界の第一人者達

～ 元大手製薬会社のVPからノーベル生理学・医学賞受賞者まで ～



Daphne Zohar
Co-Founder & CEO

バイオテクノロジー分野のトップリーダー、イノベーター



Marjorie Scardino
上級取締役

EconomistとPearsonの幹部を歴任。
MacArthur Foundationの会長



Robert Langer, ScD
Co-Founder, 取締役
Scientific Advisory Board Member

著名な生体工学者でMIT教授。「医学の歴史上最も多産な発明家の一人」と称される



Atul Pande, MD
Chief Medical Officer

新薬開発に20年以上従事
元グラクソスミスクラインのSVP
製薬研究開発のシニアアドバイザー



Ben Shapiro, MD
Co-Founder, 取締役

Merck社の元EVP。臨床前の基礎研究を統括。
ワシントン大学元教授



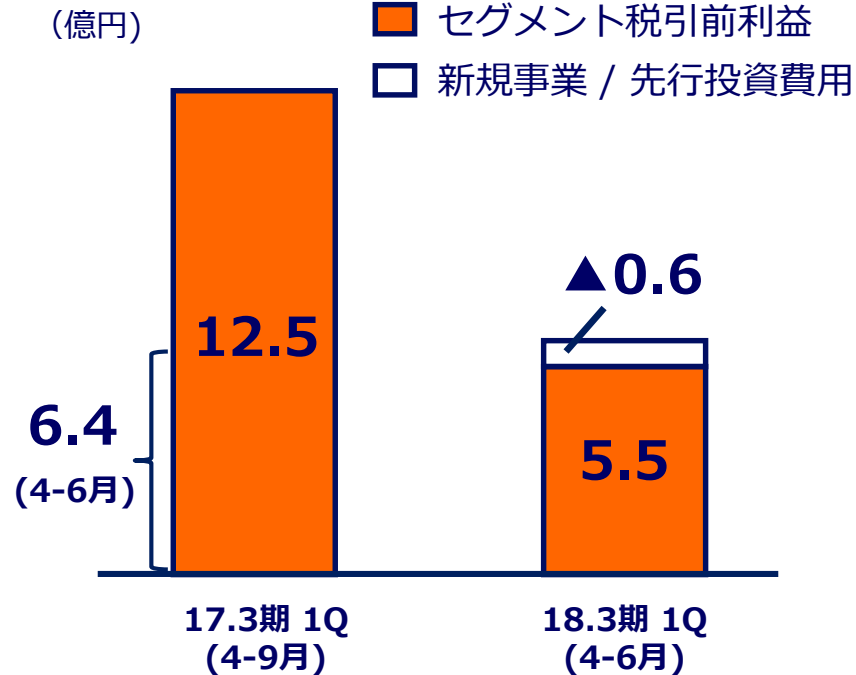
Robert Horvitz, PhD
Board Advisor & Scientific Advisory
Board Chair

プログラムされた細胞死の研究で2002年に
ノーベル生理学・医学賞受賞

➡ DGのバイオテクノロジーに関する事業展開や投資に関して専門的なアドバイスをもらう

前期変則決算に伴い、カカクコム持分法投資利益は前年同期比減益 ～ 新規事業の先行投資を積極化 ～

税引前利益





注) 17.3期1Qはカカクコム社の持分法投資利益を6ヶ月分(4-9月)計上しております。

LTIセグメントの戦略 / 主な事業進捗

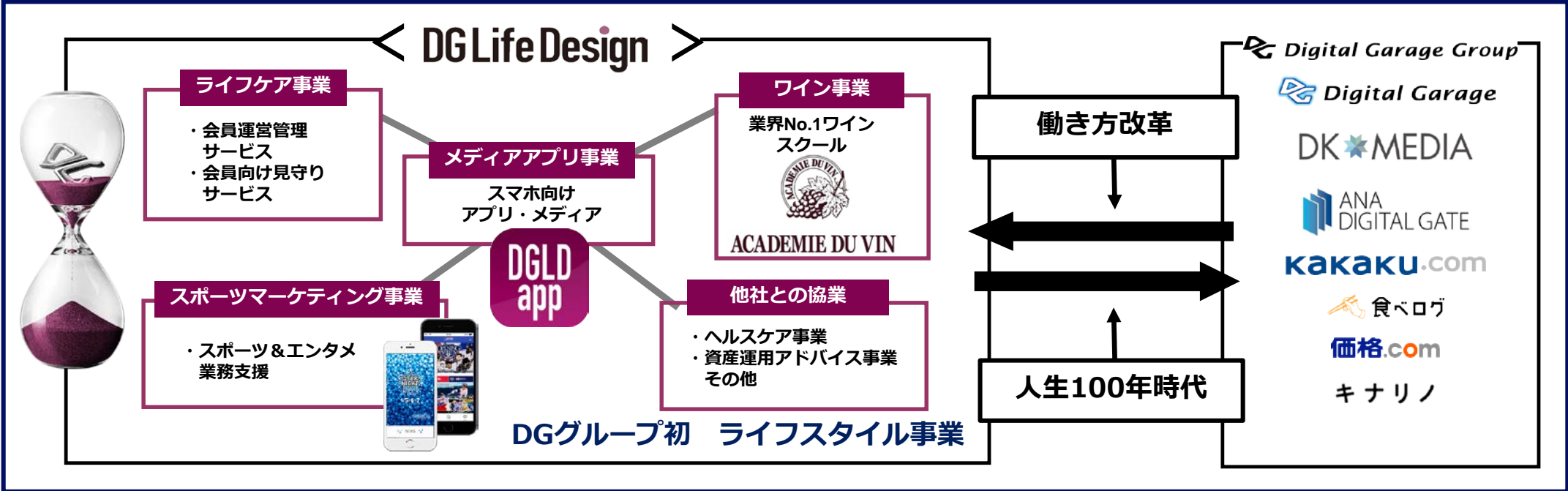
- 投資先のグループ化、アライアンス先とのJV設立
- 新規事業育成、DGグループとの連携による事業拡大
- 長期的かつ継続的な事業利益の創出



- コンテンツ事業 (講談社とのJV) 
 - ✓ 優良コンテンツとAI技術を組み合わせたコンピューレーションメディア「HOLICS」を開設
- ライフスタイル支援事業 
 - ✓ 既存の収益モデルをベースにDGグループとの連携を強化

ライフスタイル支援事業 DG Life Design本格始動

雑誌のコンテンツとAI技術を組み合わせたコンピレーションメディア「HOLICS」6月に開設



すべての女性のための偏愛ミュージアム

HOLICS

<https://holics.jp/>
2017年6月28日開設
年末の本格オープンに向けて準備中

Appendix



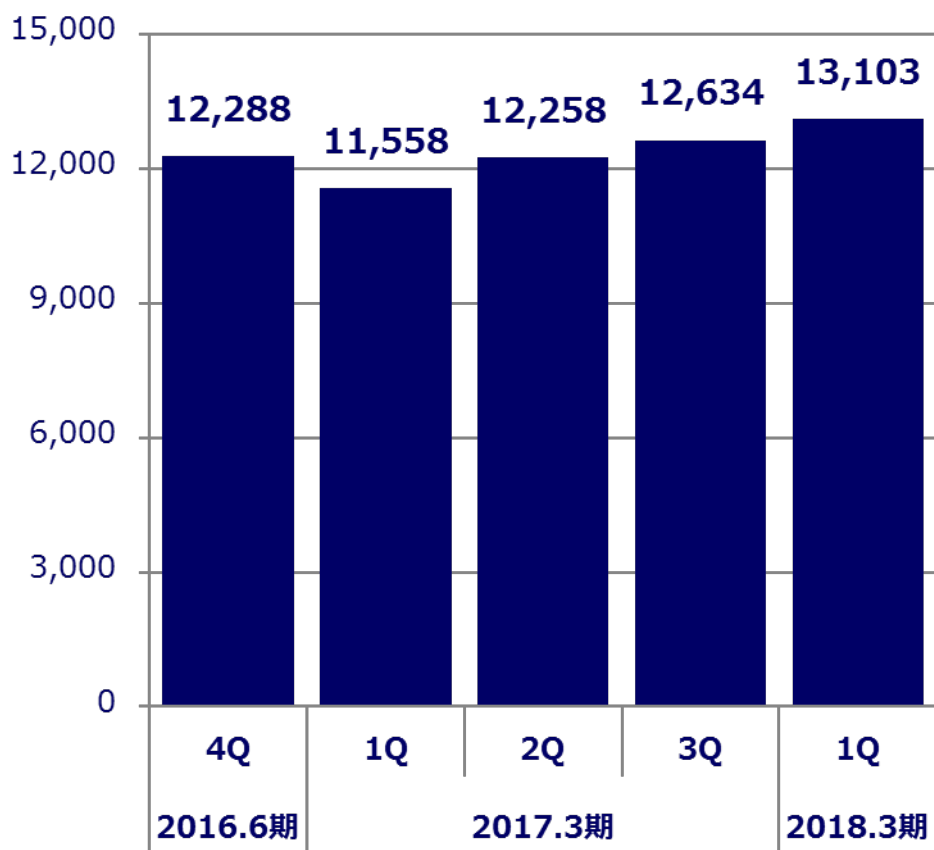


売上高前年同期比13%増131億円、税引前利益同42%減18億円

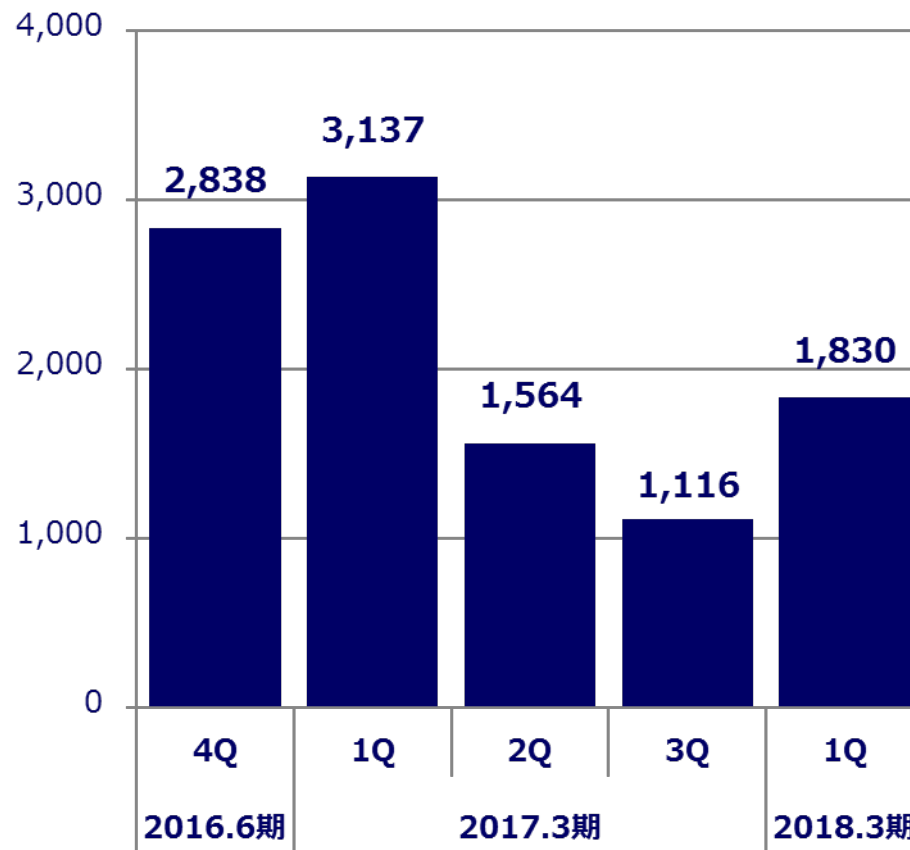
～ MT/FTが業績を牽引。前期末の減損負担がなくなり、前四半期比で税引前利益改善 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

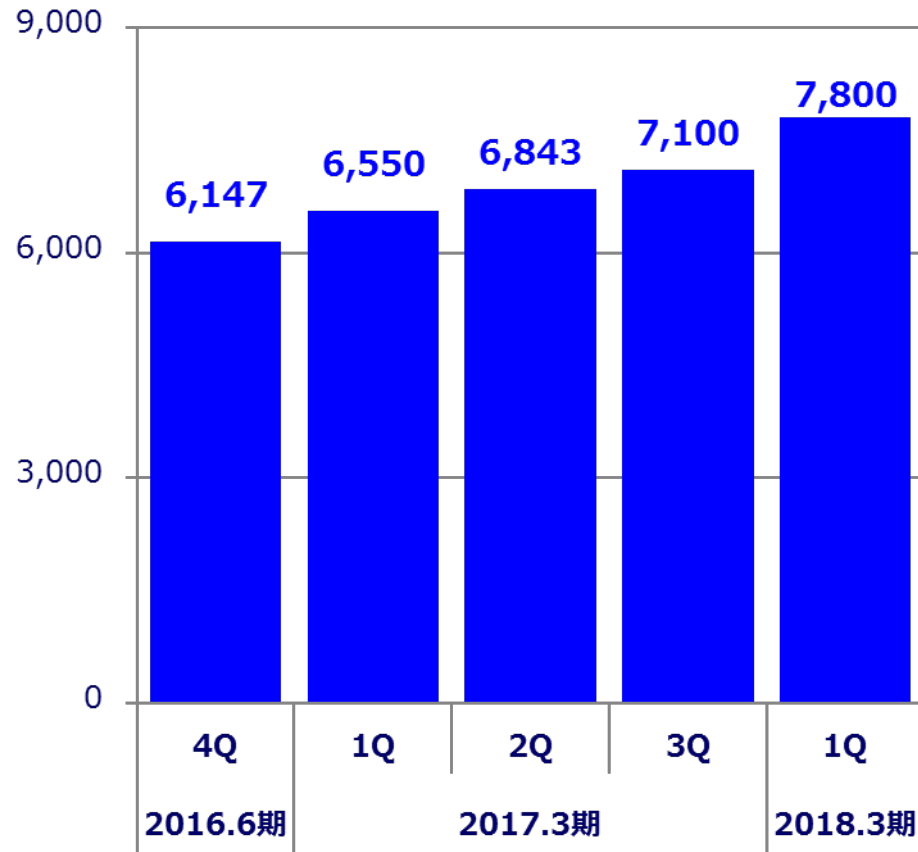


売上高、税引前利益ともに2桁の大幅成長

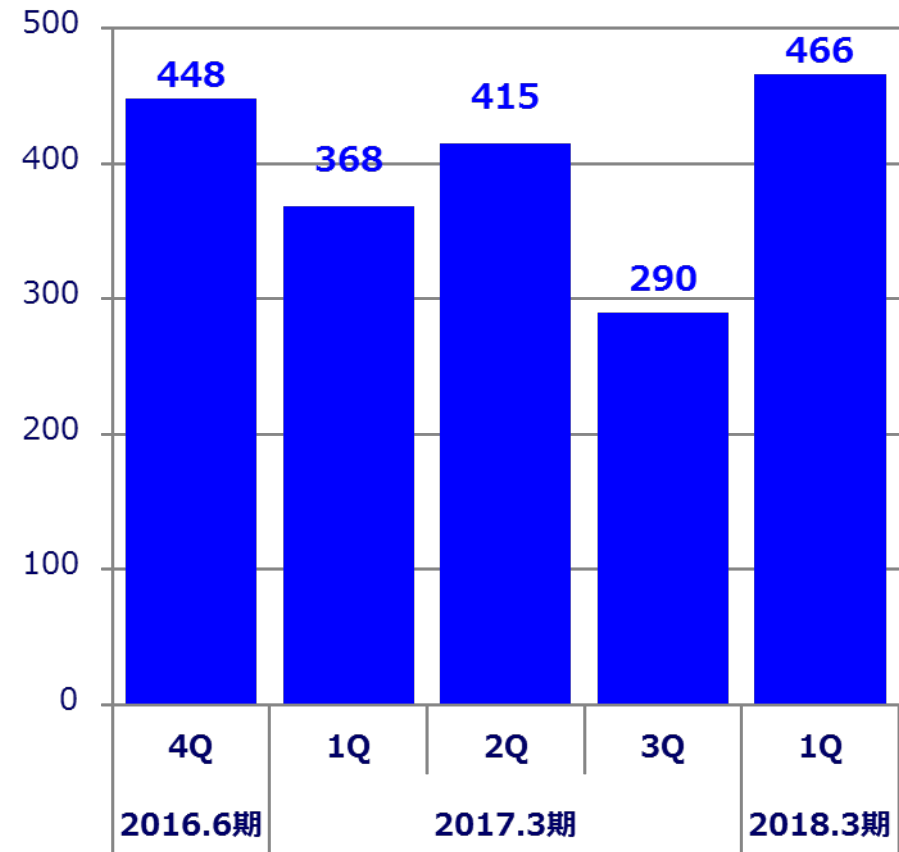
～ パフォーマンスアド領域が牽引、データサイエンス事業も好調に推移 ～

【売上高】

(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】

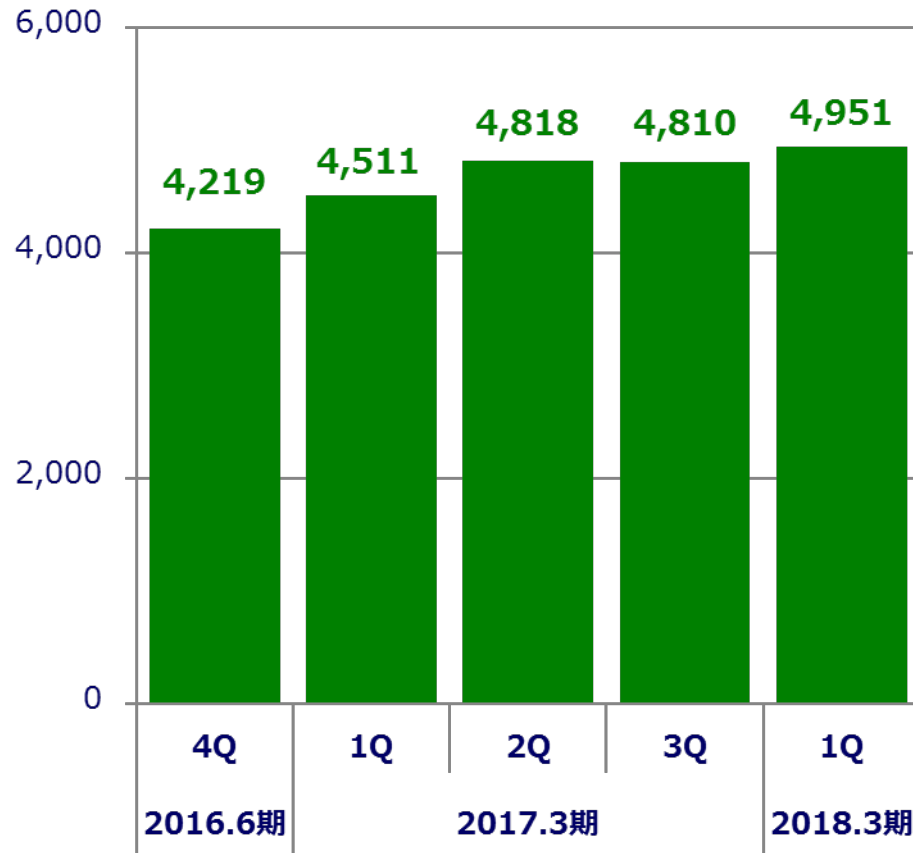


決済取扱高が大幅に拡大、税引前利益は前年同期比23%増

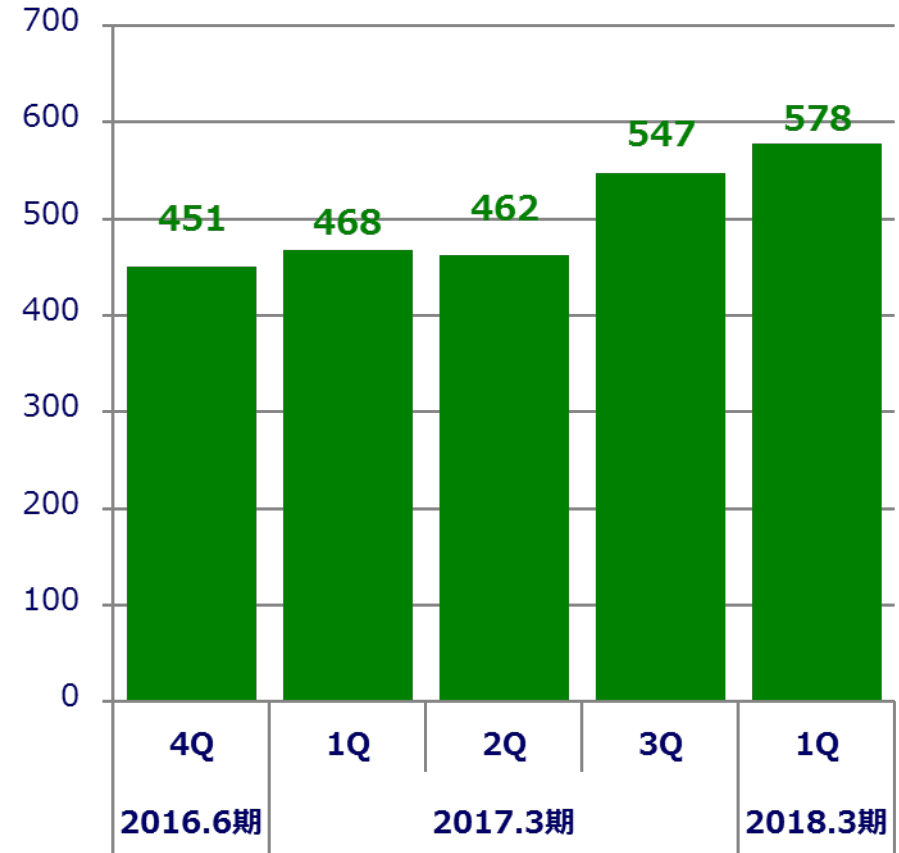
～ CtoC領域の決済が好調に推移、対面決済や海外代理店の取扱いも拡大 ～

【売上高】

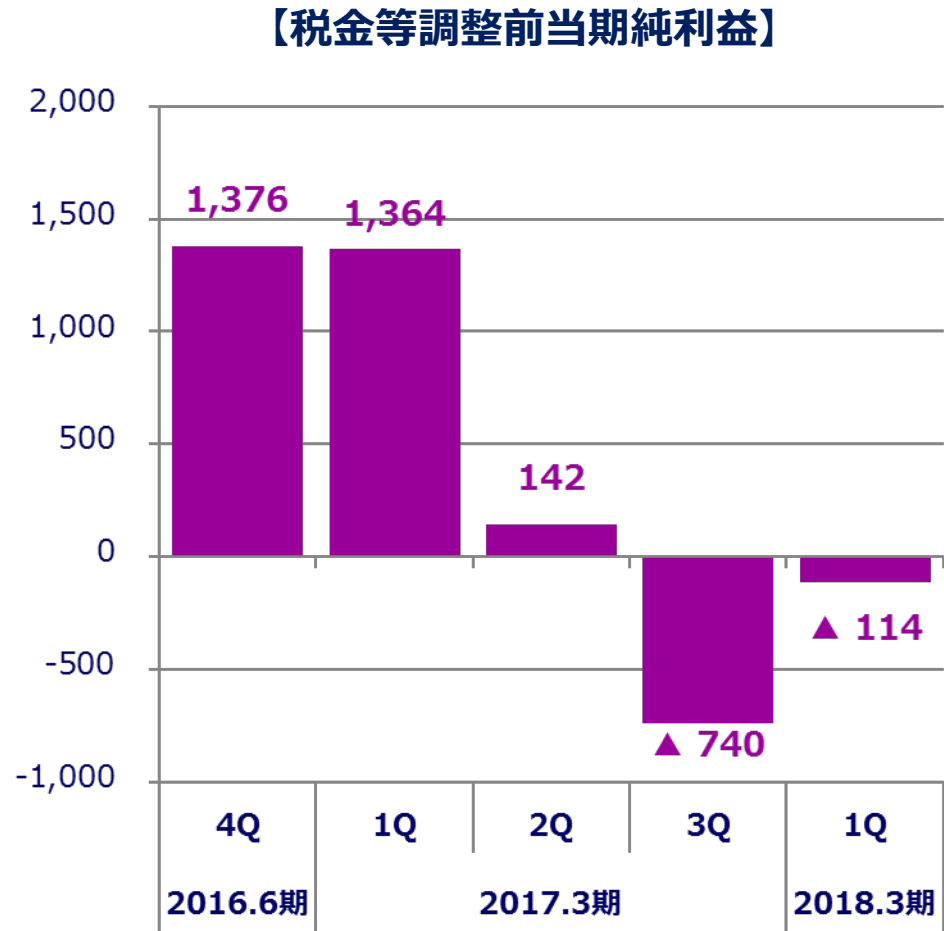
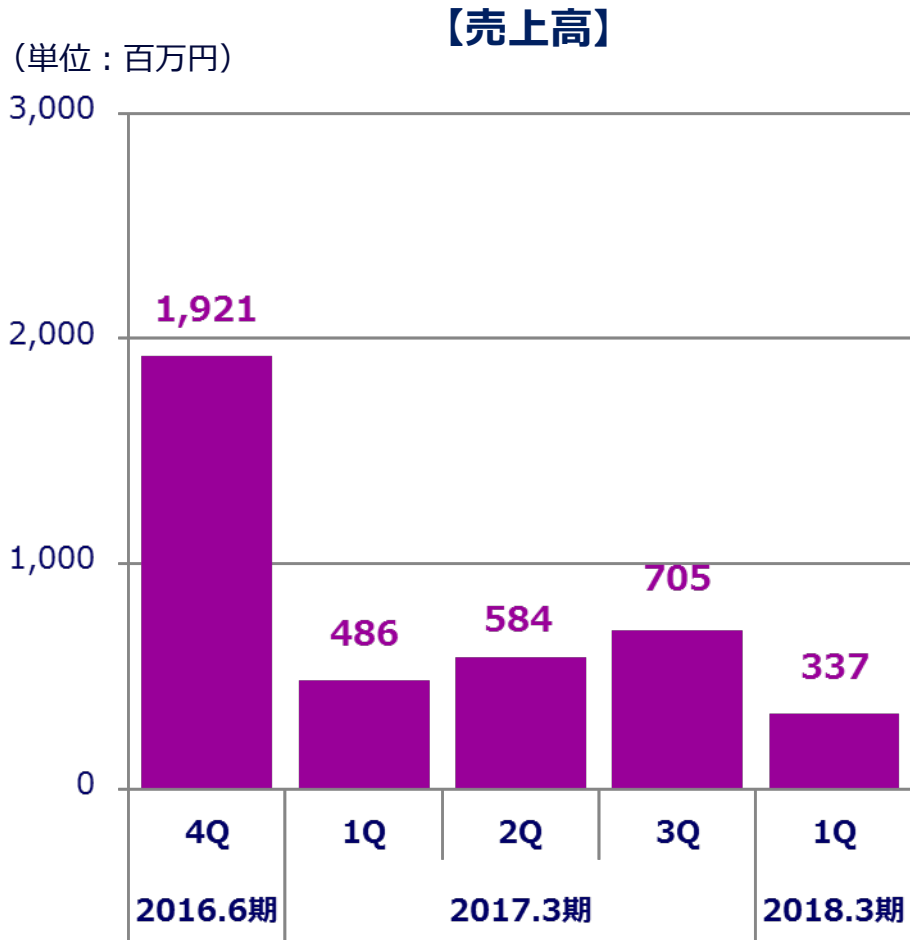
(単位：百万円)



【税金等調整前当期純利益】



米国事業は順調に売上拡大も、1Qは株式売却がなかったため、税引前損失
～ 国内外の投資ポートフォリオを拡充、投資残高は125億円まで拡大 ～

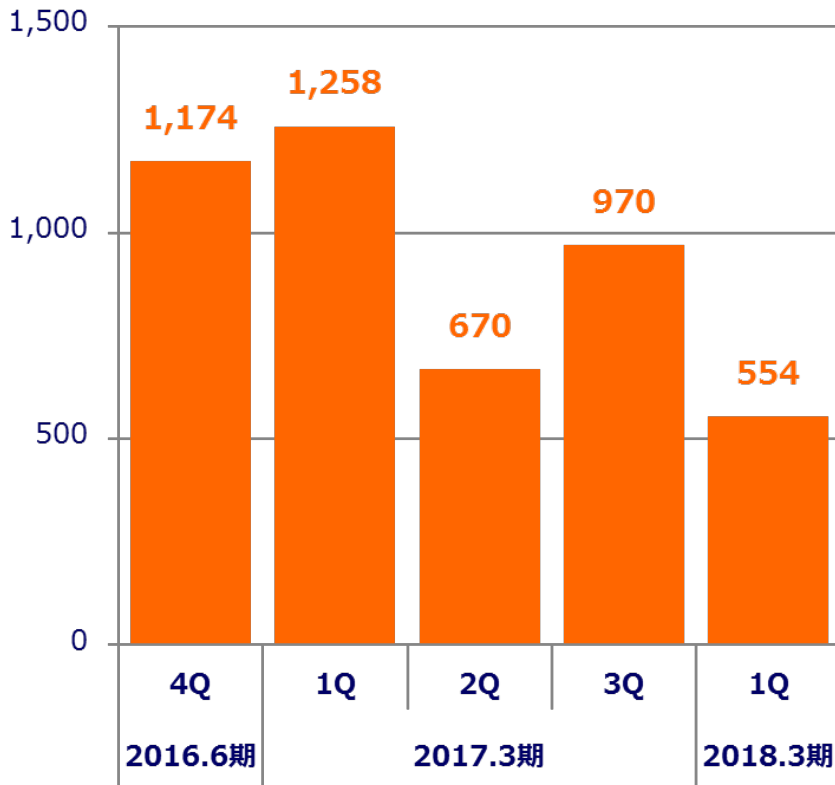


前期1Qの変則決算に伴い、カカコム持分法投資利益は前年同期比で減益

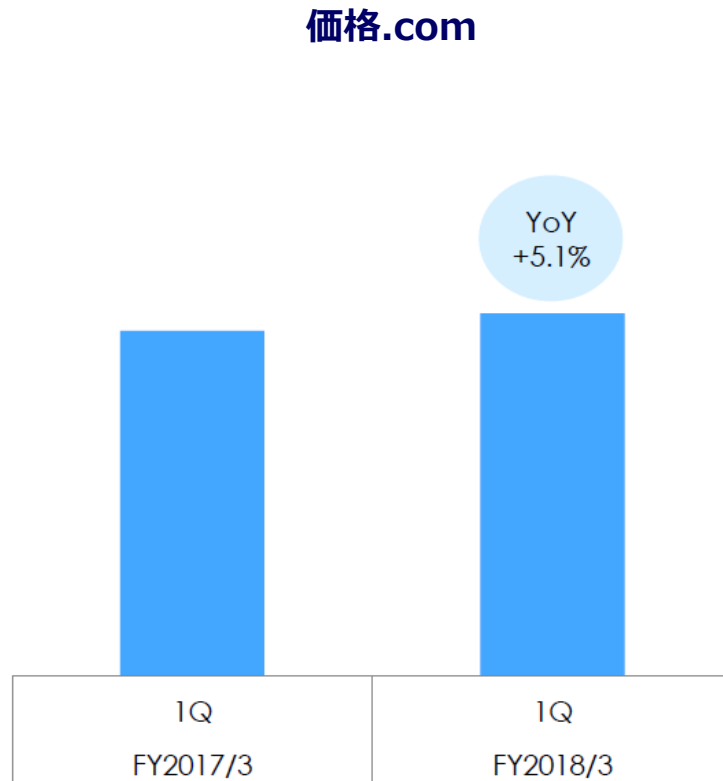
～ 優良投資先の中長期インキュベーション体制を構築 ～

(単位：百万円)

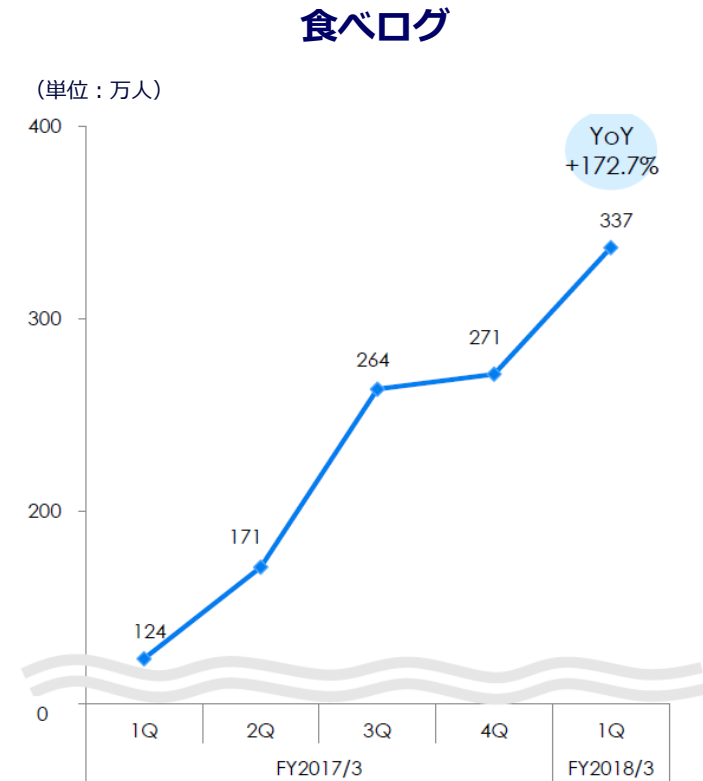
【税引前当期純利益】



【消費財 流通総額成長率】



【オンライン予約人数】



カカコム社 2018年3月期第1四半期決算説明資料より












四半期業績推移（連結）

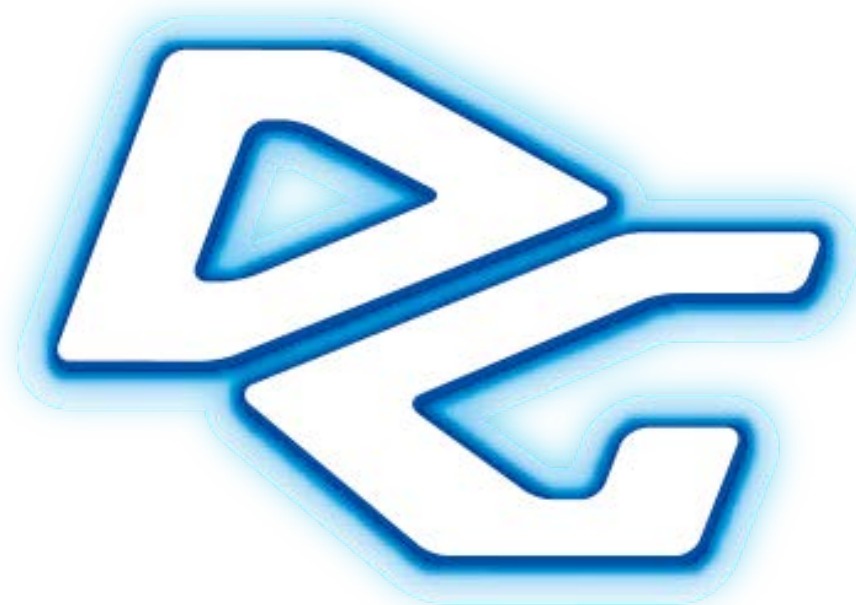
単位：百万円	2017.3期			2018.3期
	1Q	2Q	3Q	1Q
売上高	11,558	12,258	12,634	13,103
営業利益	412	493	△ 182	464
経常利益	1,770	1,544	363	1,111
税金等調整前当期純利益	3,137	1,564	1,116	1,830
親会社株主に帰属する当期純利益	2,678	1,014	595	1,267

単位：百万円	2017.3期			2018.3期
	1Q	2Q	3Q	1Q
売上高	11,558	12,258	12,634	13,103
MT マーケティングテクノロジー	6,550	6,843	7,100	7,800
FT フィナンシャルテクノロジー	4,511	4,818	4,810	4,951
IT インキュベーションテクノロジー	486	584	705	337
LTI ロングタームインキュベーション	10	12	17	14
税金等調整前当期純利益	3,137	1,564	1,116	1,830
MT マーケティングテクノロジー	368	415	290	466
FT フィナンシャルテクノロジー	468	462	547	578
IT インキュベーションテクノロジー	1,364	142	△ 740	△ 114
LTI ロングタームインキュベーション	1,258	670	970	554

Note: セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

リリース日		リリース内容
2017年8月3日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」に商品の価格や在庫情報の変動をタイムリーに通知する機能を追加
2017年8月1日	 econtext	イーコンテクト、送金サービス「CASH POST」の現金受取先に「ドコモ口座」を追加
2017年7月25日	 Digital Garage	デジタルガレージ、次世代バイオスタートアップの育成事業に参入 米国でバイオインキュベーションを手がけるPure Tech社と業務提携
2017年7月21日	 DG Lab	DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYO」の基調講演を「DG Lab Haus」を通じストーリーミング配信
2017年7月20日	 Veritrans	ベリトランスとハンズラボ、東急ハンズにクレジットカード情報の非保持化とICカードに対応したPOSシステムを提供開始
2017年7月18日	 NaviPlus	ナビプラス、DGコミュニケーションズが運営するマンション所有者向け住宅資産管理サービス「家いくら？」β版に機械学習技術を提供
2017年7月10日	 Veritrans	ベリトランス、リンク決済サービスをリニューアルし、「VeriTrans4G POP」としてEC事業者向けに提供開始
2017年6月29日	 Digital Garage	デジタルガレージ、ユーザー行動に応じたLINE配信サービスを活用し、ゲームアプリ事業者のプレゼントキャンペーンを支援
2017年6月28日	 Digital Garage	デジタルガレージと講談社、雑誌の優良なコンテンツとAI技術を組み合わせたコンピレーションメディア「HOLICS」を開設
2017年6月20日	 DG Lab	DG Lab、人工知能を活用したインタラクティブ・エージェント技術のオープンプラットフォームを構築
2017年6月14日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」のフォローメールに自動掲載できる商品レコメンドの種類を拡充
2017年6月9日	 econtext	イーコンテクト、新電力サービス「寄付電気for国境なき医師団」と「ネコ電気」へクレジットカード決済サービスを提供
2017年6月1日	 DG Lab	DG Labとカディンチェ、ライブパフォーマンスを「4K360° VR」で生配信 臨場感あふれる新感覚の映像体験を提供
2017年6月1日	 Digital Garage	デジタルガレージ、AI関連のスタートアップ育成を手がけるAll Turtlesに出資、日本における事業展開を支援へ
2017年5月31日	 Digital Garage	THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYOが7/25-26に開催 テーマは「バイオテクノロジー」と「ブロックチェーン」
2017年5月30日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」のABテスト機能を提供開始
2017年5月17日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「クラウドサインペイメント」の提供を契機として、事業者間決済の電子化事業を本格展開へ

リリース日		リリース内容
2017年5月16日		飛騨信用組合とアイリッジ、電子地域通貨の実証実験においてDG LabがBlockstream社と共同開発するブロックチェーンプラットフォーム技術を検証へ（アイリッジ社のプレスリリース）
2017年5月15日	 Digital Garage	日本初、契約締結と決済を同時に行えるクラウドサービス「クラウドサインペイメント」を提供開始
2017年5月15日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」に訪問者属性の分析機能を追加し、EC事業者への提供を開始
2017年5月12日	 Digital Garage	デジタルガレージ、富裕層向けライフスタイル支援事業を本格始動 投資先とその子会社2社を経営統合しDG Life Designとして事業展開へ
2017年4月28日	 veritrans	ベリトランス、オプティムとMRTが運営する遠隔診療サービス「遠隔診療ポケットドクター」にクレジットカード決済サービスを提供
2017年4月5日		Blockstream社、機密性を保ちながらブロックチェーン上でデジタル資産の取引を可能にするConfidential Assets機能を開発、オープンソースのデモプログラムをDG Labが提供（Blocksteam社のプレスリリース）
2017年4月5日	 veritrans  econtext	ベリトランスとイーコンテキスト、リクルートライフスタイル展開の『モバイル決済 for Airレジ』向けにビットコイン決済を提供
2017年4月3日	 econtext	イーコンテキスト、クレジットカード情報の漏えいを防止するトークン決済の提供を開始



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。